

共通テスト 同傾向の問題

歴史総合、
日本史探究

近世の社会・経済に関し、図版も利用して江戸時代の漁業の発展の背景・特徴を問う問題が出題された。歴史用語の暗記では対応できず、漁業発展の背景を理解する力が問われた。

共通テスト

第2問 問1

図1 『上総九十九里地引網大漁獵正写之図』(江戸時代後期)

『上総九十九里地引網大漁獵正写之図』(江戸時代後期)
という江戸時代の房総における地引網漁を描いた図

※都合により省略

- ① この地域に大規模な地引網漁などの網漁法をもたらしたのは、東北地方の漁民であった。
- ② この地域で地引網漁が発達した背景には、肥料としての干鰯の需要が増大したことがあった。
- ③ この地引網漁の網元は、場所請負制で経営を請け負った商人で、現地の住民を網子として使役していた。
- ④ 長崎貿易で俵物が新たな輸出品となったことで、この地域の地引網漁はさらに活況を呈した。

河合塾

全統プレ共通テスト 歴史総合、日本史探究
第5問 問1

図版1

江戸時代の房総における地引網漁を描いた図版

※都合により省略

- 問1 干鰯・鰯粕やその原料のイワシ・ニシンの漁獲・生産について述べた文あ・いと、その流通について述べた文X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 24

漁獲・生産

- あ 房総半島の九十九里浜では、上方から伝わった網漁の一つである地引網でイワシが獲られていた。
- い 蝦夷地ではアイヌ集団によってニシン漁が行われ、松前藩の家臣が本州の商人を排除してアイヌとの交易でニシンを入手していた。

流通

- X 南海路に定期就航する菱垣廻船などで上方に運ばれた。
- Y 西廻り航路に就航する北前船で上方に運ばれた。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

共通テスト第2問 問1は、図版も利用して江戸時代の漁業発達の背景を問う設問であった。プレ共通テスト第5問 問1は、同様の図版も用いて、漁業発達の背景にある干鰯やその原料のイワシの漁獲・生産を問う問題であった。ともに房総の地引網漁に関する図版も用いて漁業発展の背景を扱っている点で「同傾向」の設問といえる。